



学校教育目標 志高く自らの人生と社会の未来を拓く人を育てる

育てたい人間像

- 知・徳・体の調和のとれた人格を身につけた人
- 新しい時代に必要な6つの力、未来開拓力を身につけた人
- 生涯にわたって主体的に学び続け、地域社会やグローバル社会に貢献できる人

P

何ができるようになるか

新しい時代に必要な6つの力、

未来開拓力

社会の中で役割を果たしながら自分らしい生き方を実現し、新しい知や価値を創造していくために必要な資質・能力



何を学ぶのか

D

「総合的な探究の時間」を軸に「各教科・科目」、「特別活動」等を有機的につなげ、社会に開かれたカリキュラム

■未来開拓型カリキュラム

- ・新しい大学入試に対応する本校独自の教科・科目「Global English」、「探究」
- ・一人ひとりの学習進度に応じた熟読度別少人数授業
- ・進路に応じた多彩な選択科目
- ・社会とつながる学校外の学修

■総合的な探究の時間ACT

- ・自らの人生を考える「キャリア探究」
- ・社会の未来を考える「課題探究」
笠岡（ローカル）を考える「地域学」
笠岡から世界（グローバル）を考える「テーマ探究」

■さまざまな主体的活動

- ・生徒会活動、部活動、ボランティア活動等
- ・視野を広げる「グローバル&サイエンス・プログラム」
- ・3年間を見通した「進路研究プログラム」
- ・校内外のさまざまな学習機会

A

改善

どのように学ぶのか

D

主体的・対話的で深い学びをととして未来開拓力を身につける

■「千鳥型学習指導のスタンダード」による学び

- ・「授業スタンダード」でアクティブ・ラーナーへと成長目標提示→主体的活動→振り返る機会
- ・学習内容に学びを最適化
講義型授業、AL型授業、ICT型授業
- ・「学習時間のスタンダード」でバランスのとれた家庭学習

■社会や将来とつながる探究学習(PBL型学習)

- ・正解のない課題について探究し、解決へのアプローチ方法を身につける学び
- ・社会と自らの生き方を関連づけて考え、主体的に自身の進路を拓く学び
- ・教科・科目で学んだ知識を関連づけて活用する 教科横断的な学び

■体験を経験に変える主体的な学び

- ・自らねらいを持って体験し、考えて得た経験を積み重ねていく学び

何が身についたのか

C

資質・能力の多面的・総合的評価による学びのPDCAサイクル

- ・ペーパーテストによる評価に加えて、パフォーマンス評価、ルーブリック評価などの多面的・総合的評価
- ・授業毎に振り返る機会、学習活動毎にリフレクション・シート、学期毎にルーブリックを用いた振り返り
- ・学習eポートフォリオにより学びを振り返り、改善につなげるPDCAサイクルの確立

実施するために何が必要か

- 指導のノウハウやスキルを進化、継承する体制や研修の充実
- 業務の精選により、教材や生徒に向き合う時間を確保
- チーム学校体制の充実
- 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資産も含めて活用

生徒をどのように支援するか

- 小中高接続プログラム
・小中学校との連携
・初期指導とガイダンスの充実
- 教育相談体制、生徒面談、教科カウンセリングの充実
- 保護者懇談会の充実

